

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

JP-A-5-19932

(11) Publication number : 05-199320

(43) Date of publication of application : 06.08.1993

(51)Int.Cl. H04M 11/0000
H04M 1/0000
H04N 1/0000

(21) Application number : 04-00755

(71)Applicant : CANON INC

(22) Date of filing : 20.01.1992

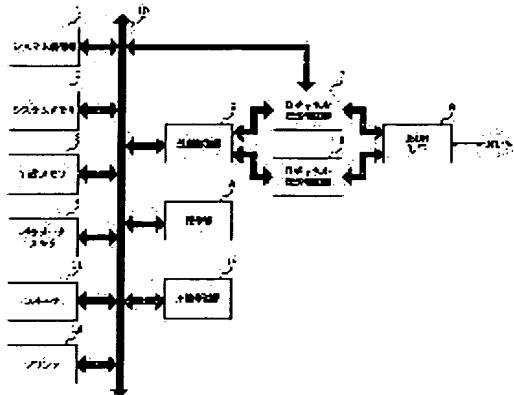
(72)Inventor : ITEZONO TOSHIYUKI

(54) ISDN TERMINAL EQUIPMENT

(57)Abstract:

PURPOSE: To improve the reply of an incoming call when plural terminal equipments are connected to a same bus.

CONSTITUTION: A delay time in the case of the arrival and reply to a parameter memory 4 is registered and the reply is made after lapse of a delay time registered at the arrival of the call. Furthermore, a sub address of other terminal equipment connecting to the same bus is registered to the parameter memory 4 and when an incoming sub address is not coincident with any of sub addresses to be registered, a reply is made. Even in the absence of a sub address, a reply is made at a specific terminal equipment. Moreover, a reply is made even when an incoming sub address is in error.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 09.12.1998

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3244741

[Date of registration] 26.10.2001

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of

rejection]

(19) 日本国特許庁 (JP)	(12) 公開特許公報 (A)	(11) 特許出願公開番号 特開平5-11
		(43) 公開日 平成5年(1993)
(51) Int.Cl.* H 04 M 11/00 1/00 H 04 N 1/00		発明記号 3 0 2 序 内盛埋番号 8627-5K P 7117-5K 1 0 7 Z 7046-5C
		F 1

【特許請求の範囲】 前述した客室遮断時間設定装置を規定する部品を手段とし、前項時に依存した呼出設定メモリセーションに蓄アソードリストが含まれていないとき、前記新規性は客室遮断時間超過後における新規性をもつて可能となる制御手段を備えることを特徴とする新規性を含む客室遮断時間設定装置。

(21)出願番号	特願平4-7553	(71)出願人	00000107 キヤノン株式会社
(22)出願日	平成4年(1992)1月20日	(72)発明者	東京都大田区大字子3丁目30番2号キヤ ノン株式会社内
		(73)代理人	弁理士 丸島 俊一

卷之三

データを社会化し、情報処理技術なども進歩させることにより、より多様な情報サービスが実現しつつある。I SD DN (サービス端子デジタルブロック) が構成して、運営側

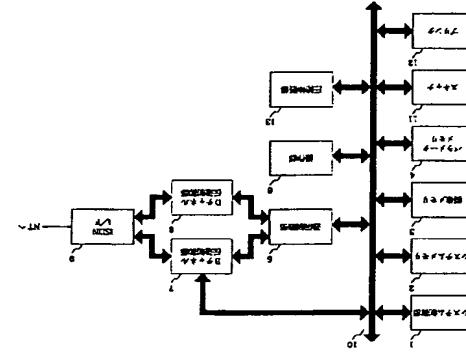
ターナーのユニークな特徴は、ターナーが自らの絵画を「ターナー派」の代表として位置づけようとしたことである。彼は、自身の絵画を「ターナー派」と名づけ、他の画家たちと区別するためである。また、ターナーは、自分の絵画を「ターナー派」と名づけたことで、他の画家たちと区別するためである。ターナーは、自分の絵画を「ターナー派」と名づけたことで、他の画家たちと区別するためである。

1000.4 したがって、ある燃焼装置が他の燃焼装置製造している。

100121 X、本実用新案は、同ノーナクルムに接続された接続部の各々のサブアダプタトレイを支持する構造を有する。アダプタトレイは、電気信号を伝達する導通メッシュアーチの配線部を有する。

セーフティメッセージ（端末要求のためのメッセージ）を送出することで、障害に先立ち端末装置を操作することができます。参考文献：<http://www.ntt.com/nttcom/whitepaper/2005/01/0001.pdf>

（説明が解決しようとする観測）しかしながら從来の装置では、以下の点が問題となっていた。
1) 0006) すなわち、光端子側のオペレータが相手端に接続する本のサブアドレスを知らなかった場合、営業時にそのサブアドレスを指定することができないので、若サブアド



も一致しないときでも着信応答を可能とすることができ、前記向バス接続機のうち、発呼端末との通信が可能ないずれかの装置が着信可能なとなる。

[0013] [実施例] 以下、図を参照しつつ、本実現の実施例を詳細に説明する。

[0014] 図1は本発明の一実施例のG4ファシリティ装置の構成である。

[0015] 図1において、システム制御部1は、このG4ファシリティ装置全体の制御処理を実行するものであり、システムメモリ2は、前記システム制御部1が実行する制御処理プログラムやその制御結果を記憶するものであり、画像データメモリ3は、このG4ファシリティ装置の画像データである。

[0016] ハードウェアメモリ4は、このG4ファシリティ装置に固有な全種の情報、例えば同一バスに接続された各装置のサブアドレス情報や着信応答メッセージC ONNの送信時間などを記憶するものであり、画像データメモリ5はこのISDN対応のG4ファシリティ装置の送信側制御手順処理を実行するためのものであり、操作部6はこのG4ファシリティ装置を操作するためのものである。

[0017] Bチャネル伝送制御部7は、情報チャネル(Bチャネル)における伝送制御処理を行なうためのものであり、Dチャネル伝送制御部8は、信号チャネル(Dチャネル)における伝送制御処理を行なうためのものであり、ISDNインターフェース回路9は、このG4ファシリティ装置をISDNに接続するためのものである。

[0018] スキャナ11は原稿を走査、光電変換、2次元化して画像データを読み込むものであり、プリント12は画像データをプリントするためのものであり、圧縮部13は原画像データを圧縮して圧縮データを作成したり、圧縮データを伸張して原画像データを作成するものである。

[0019] 着信応答メッセージCONNの送延時間等のパラメータのパラメータメモリ6への登録は操作部6にて行なわれる。

[0020] システム制御部1、システムメモリ2、両機器メモリ3、パラメータメモリ4、通信制御部5、操作部6、Bチャネル伝送制御部7、スキャナ11、プリンタ12、圧縮伸張部13はシステムバス10に接続されおり、これらの要素間の情報のやり取りは、このシステムバス10を介して行なわれる。

[0021] 図4は、同一バスに接続された各装置のサブアドレス情報の記憶構成所であり、最大8機までのサブアドレスを記憶できるものである。このサブアドレス情報の登録は本実施例においては操作部6にて行う。図3(b)に示すように、ISDNより解放メッセージRELを受け、これに対して解放完了メッセージRE

燃焼装置であるG4ファシリティ装置の基本的データ転送手順を以下に説明する。

[0023] 図3(a)に示すように、発端末は、呼出端末とのメッセージSETUPにISDNに送出して着端末との呼出設定を要求し、ISDNは、指定された着端末に対する固定メッセージSETUPをISDNに送出して発端末へ応答する。また、ISDNは呼出状況を通知するため呼出設定を受けたメッセージSETUPをISDNに送出する。

[0024] 着端末は着信情報を得ると、自動検知装置が可能な状態になっているときには、ISDNに呼入メッセージCALL-PROCを着端末に送出する。

[0025] 着端末は着信情報を得ると、同一のG4ファシリティ装置全体の制御処理を行なうための制御プログラムを起動し、着端末のサブアドレスを初期化する。その後、着端末は着信情報を得ると、同一のG4ファシリティ装置全体の制御処理を行なうための制御プログラムを起動し、着端末のサブアドレスを初期化する。

[0026] また、ISDNは、着端末に応答するためのメッセージCONN-ACKを送出し、着端末の回答を確認した時点で、着端末は着信情報を得ると同一のG4ファシリティ装置全体の制御処理を行なうための制御プログラムを起動し、着端末のサブアドレスを初期化する。

[0027] これにより、着端末と着端末との相互間で、情報チャネルを用いたデータ伝送が、各々の端末の伝送機能を要求し、ISDNが切断メッセージDISCを着端末に送出して情報チャネルの復旧を通知する。

[0028] そしてデータ伝送を終了すると、着端末が切断メッセージDISCをISDNに送出して情報チャネルの開放を要求し、ISDNが切断メッセージDISCを着端末に送出して情報チャネルの復旧を通知する。

[0029] これにより、着端末がチャネル切断完了を通知する結果メッセージRELをISDNに応答する。と、ISDNから着端末に解放メッセージRELEASEが送出される。着端末はチャネル転送が完了すると解放完了メッセージREL-COMPをISDNに送出してその旨を通知し、それにより、ISDNは解放完了メッセージRED-COMPを着端末に送出して、情報チャネルの解放が成立し、着端末と着端末との間に割り定められた情報チャネルが開放される。

[0030] このようにして、着端末と着端末との間に情報チャネルが割り定められて、データ転送が行われ、データ転送が終了すると、情報チャネルが開放される。

[0031] なお、同一のユーザー、繩インフェースに接続された複数の着端末が同時に着信応答したときは、最も早く応答メッセージCONNをISDNに送出した着端末が着端末との情報連携部5の第2の動作を図7のフローチャートを用いて説明する。まず、701にて呼出設定メッセージRELを用いて説明する。

[0032] 一方、同一のユーザー、繩インフェースに接続された各装置のサブアドレスが最大8機までのサブアドレス情報を記憶構成所であり、最大8機までのサブアドレスを記憶できるものである。このサブアドレス情報の登録は本実施例においては操作部6にて行なわれる。

[0033] ここで、図3を参照しながらこのISDN

L-COMPをISDNに送出して呼び切断復位が行われることとなる。

[0034] さて、呼出設定メッセージSETUPは、図5に示すように必須情報要素として伝送能力を持ち、付加情報要素としては発送番号、免送番号、発送端末アドレス、低位レイヤ整合性、高位レイヤ番号、着サブアドレス、低位レイヤ整合性、高位レイヤ整合性要素が着端末に登録されているサブアドレスと一致するかどうかを調べる。

[0035] 10.2の結果がYESの場合、10.6において、着サブアドレス情報要素が着端末に登録されているサブアドレスと一致するかどうかを調べる。

[0036] 10.6の結果がYESの場合、10.5において、着端末にCONNの送出を行う。

[0037] 10.6の結果がNOの場合、10.7において着端末を無視する。

[0038] 10.2の結果がNOの場合、10.3、10.4、10.5の一連の処理で所定の送延時間後に着端末が着信情報を回線交換であるのかバケット交換であるのかを示す伝送モード、情報伝送の速度を表す情報伝送速度情報の伝送形式を表す情報、およびユーザ情報の非制限デジタル情報、制限デジタル情報、3.1KHzオーディオ、7KHzオーディオ、ビデオのいずれかであるのかを示す情報伝送能力、使用する交換機が回線交換であるのかバケット交換であるのかを示す伝送モード、情報伝送速度を開始する。

[0039] 10.3の結果がNOならば10.4にて着信応答メッセージを開始する。

[0040] 10.3の結果がYESとすると同一のユーザー、繩インフェースに接続される、発端末と着端末の端末属性が不一致となる。

[0041] 10.4にて所定の送延時間が経過したか、前記着信選択ダイマーがタイマアップしたかを調べ、10.4がNOならば10.5にて着信応答メッセージを送出する。

[0042] 10.4にて所定の送延時間が経過したか、前記着信選択ダイマーがタイマアップしたかをトさせ、10.4にて所定の送延時間が経過したか、前記着信選択ダイマーがタイマアップしたかをつまり、10.4がNOならば10.4にて着信応答メッセージを開始する。

[0043] このように、同一のユーザー、繩インフェースに接続される、発端末と着端末の端末属性が不一致となる。

[0044] 10.4にて所定の送延時間が経過したか、前記着信選択ダイマーがタイマアップしたかを調べ、10.4がNOならば10.5にて着信応答メッセージを開始する。

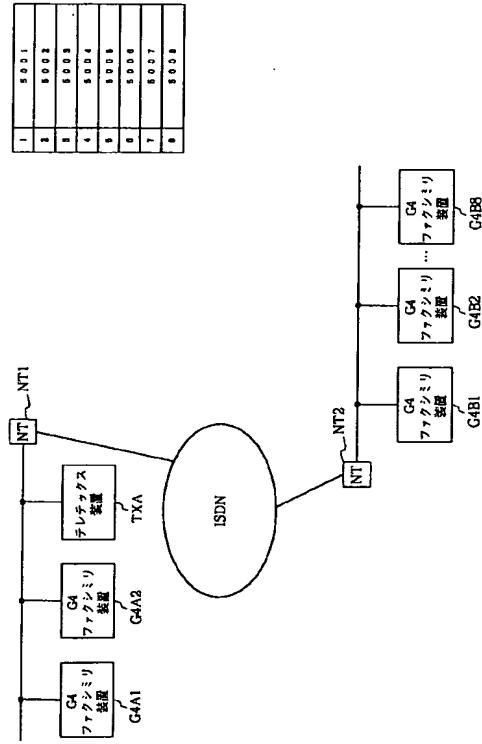
[0045] 10.4にて所定の送延時間が経過したか、前記着信選択ダイマーがタイマアップしたかを調べ、10.4がNOならば10.4にて着信応答メッセージを開始する。

[0046] 10.4にて所定の送延時間が経過したか、前記着信選択ダイマーがタイマアップしたかを調べ、10.4がNOとによって、着信応答メッセージを開始する。

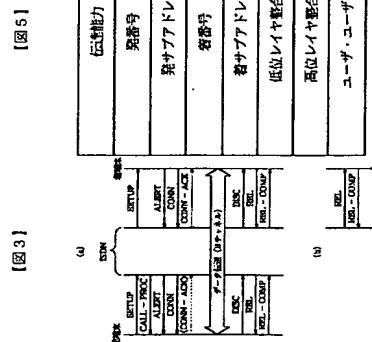
[0047] 10.4にて所定の送延時間が経過したか、前記着信選択ダイマーがタイマアップしたかを調べ、10.4がNOとによって、着信応答メッセージを開始する。

[0048] 10.4にて所定の送延時間が経過したか、前記着信選択ダイマーがタイマアップしたかを調べ、10.4がNOとによって、着信応答メッセージを開始する。

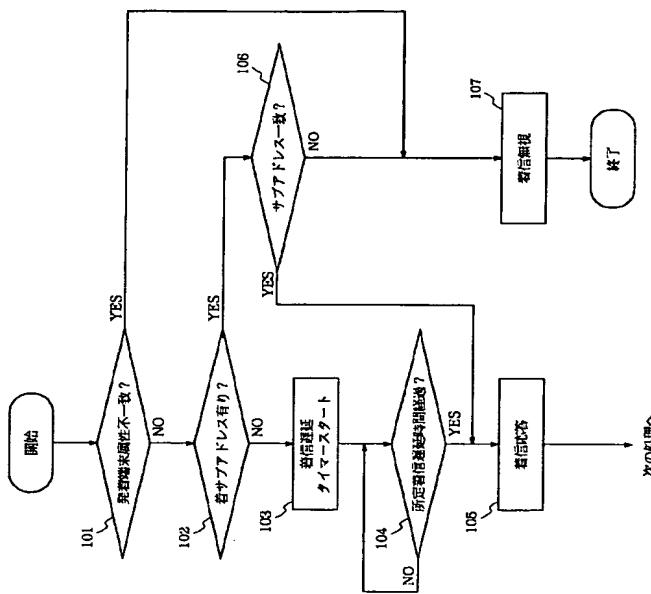
[図2]



[図3]



[図4]



-7-

-8-

[図7]

